

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ラブラドルあさひ館（児童発達支援、放課後等デイサービス）		
○保護者評価実施期間	令和8年1月9日 ～ 令和8年1月23日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年1月9日 ～ 令和8年1月26日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・こどもたちひとりひとりの特性や様子について職員間で話し合い、ひとりひとりに合わせた支援を提供している。	・こどもたちひとりひとりの成長に合わせた支援を行えるように、現在の様子をしっかりと捉えて職員間で支援方法を話し合い決めている。 ・子どもたちの新しいあそびや興味が広がるように、新しいことも取り入れるようにしている。	・定期的な振り返りと支援の見直しをし、興味やあそびをより広げたり、出来るが増えるように取り組みたい。 ・提供するあそびやレクリエーション等のアイデアが広がるよう、職員の研修の機会を増やしていく。
2	・ホームページやおたよりにて子どもの様子を写真で掲載し、情報を発信している。	・連絡ノートの言葉だけでは伝わりにくいので、できるだけ写真も使って伝えられるように、イベントや製作、レクリエーション等の様子をブログに掲載したり、個別面談時に写真を掲示するようにしている。	・ブログはお家の方からも好評のお言葉を頂いているので、イベントばかりではなく、普段の様子等も投稿するようにしたい。
3	・館内は全てバリアフリーで、個室、フロア、ホール、トイレ3ヶ所、ケアルーム、特殊浴槽の設備があり、十分なスペースがある。職員もひとりひとりに配慮出来るように配置している。	・その日の体調や様子に合わせてスペースを上手く活用し、過ごすことができている。 ・職員が個別に関われるように配置に努めている。	・自然に恵まれた環境を活かし、自然を感じる場所へ出かけ、戸外でのあそびの機会をもっと取り入れていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・放課後児童クラブや保育園、児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会が不足している。	・夏休みに交流を検討したが、その時の子どもの様子から実施するまでに至らなかった。	・どのような形だと放課後児童クラブや保育園、児童館との交流しやすいか、再度職員間で検討しなおしたい。
2	・父母の会の活動や、保護者会、保護者に向けた研修等の開催が行われていない。	・今年度は、夏休みにマジックショーを開催し、お家の方々でお話したり、情報共有する機会を設けたが、もっとゆっくり集まって話す機会が欲しいというニーズがあれば、保護者会や研修会を検討したい。	・お家の方々のニーズに対応し検討する。
3	・地域とのコミュニケーションとつながりが薄い。	・地域の情報収集に欠けている。 ・先方と時間を合わせるが難しい。	・更に地域とのかかわりの機会を増やし、つながりを強くしていく方法を検討していく。